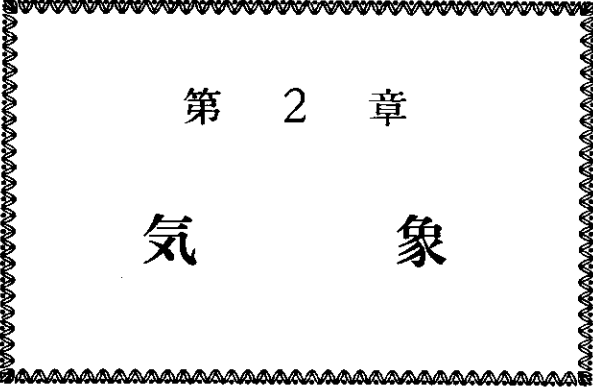


第 10 表

府 県 別 民 有 地

本表は全国の各市町村（東京では区）が保有している土地台帳または土地補充課税台帳に登録された土地のうち、地方税法第5条、第34条の規定により課税の対象となる土地にかんする各年1月1日現在の数字である。

府 県	総 数		数		田	畑	宅 地	山 林	牧 場	原 野
	総 数	市 部	郡 部	郡 部						
昭和 39 年	15 574 028	4 480 598	11 202 764	3 092 283	2 668 648	654 655	7 554 922	192 755	1 407 864	
40	15 720 005	4 522 891	11 197 114	3 096 708	2 660 923	677 409	7 574 457	192 483	1 399 042	
41	15 746 992	4 581 538	11 165 453	3 097 758	2 646 570	700 322	7 589 103	191 414	1 396 376	
42	15 771 631	4 753 515	11 010 115	3 096 545	2 635 752	723 096	7 950 564	193 200	1 400 127	
昭和 43 年	15 773 565	4 781 799	10 991 766	3 100 624	2 621 740	747 281	7 569 940	193 299	1 402 995	
北青岩宮	2 784 884	499 830	2 285 055	242 405	663 620	41 767	1 071 673	177 673	556 485	
海森手城	358 457	109 522	248 934	73 599	77 837	12 330	110 639	965	80 197	
道県	719 497	199 873	519 624	73 297	82 984	13 442	396 394	8 596	143 500	
道県	301 104	65 536	235 569	103 993	43 214	15 928	128 074	3	9 122	
秋山福茨	306 191	73 436	232 755	111 802	30 648	11 724	87 297	40	63 878	
田形島城	344 437	154 053	190 384	101 999	43 301	11 535	146 329	6	40 357	
島城	544 893	194 158	350 735	105 574	95 563	17 031	277 395	5	45 952	
島城	413 126	97 820	315 306	96 682	133 507	25 865	137 504	56	16 595	
枋群埼干	340 890	137 080	203 810	90 264	63 644	18 102	152 980	1 171	12 907	
木馬玉葉	268 348	77 403	190 945	37 370	83 249	16 677	108 392	464	20 745	
木馬玉葉	249 469	109 576	139 893	64 971	85 506	29 529	62 745	-	3 223	
木馬玉葉	358 196	152 820	205 375	103 244	84 401	29 038	120 516	1 526	14 417	
東神新富	113 138	74 732	38 405	5 406	22 394	42 040	37 359	-	2 561	
奈川	141 214	92 764	48 450	15 991	36 934	31 784	47 871	2	4 972	
奈川	491 565	174 697	316 868	179 665	53 722	21 836	212 008	-	18 676	
奈川	146 828	63 770	83 058	74 527	9 936	9 985	46 695	-	3 554	
石福山長	164 717	71 659	93 058	52 637	15 199	8 596	81 872	0	5 288	
川井梨野	174 570	77 349	97 221	46 836	8 272	6 805	108 393	0	3 190	
梨野	132 179	33 531	98 648	18 620	33 260	6 158	62 354	-	11 231	
梨野	444 437	148 084	296 353	80 678	92 626	18 344	188 681	1 491	60 331	
岐静愛三	476 953	92 141	384 812	63 753	30 277	14 355	348 896	-	15 776	
阜岡知重	436 270	182 976	253 294	52 576	71 148	23 283	259 169	4	24 794	
知重	277 407	135 750	141 657	85 992	55 084	37 934	89 395	-	4 004	
知重	290 993	107 140	183 853	67 243	29 979	12 904	173 237	0	4 507	
滋京	175 776	37 884	137 892	64 007	8 429	8 905	89 131	0	3 720	
京都	167 563	81 237	86 326	35 576	13 385	11 903	99 559	7	3 137	
大阪府	91 026	75 007	16 018	30 975	7 430	30 310	19 300	-	725	
兵奈和鳥	433 452	153 748	279 704	96 555	17 060	26 536	280 341	8	8 063	
庫良山	148 812	38 118	110 694	27 961	9 041	5 657	102 676	-	1 491	
庫良山	247 888	38 394	209 494	25 528	17 579	5 798	197 045	0	1 356	
庫良山	152 063	31 121	120 942	32 595	16 531	4 901	80 293	-	17 106	
島岡広山	372 729	99 800	272 929	52 254	21 036	6 828	284 480	2	6 689	
根山島口	344 630	96 752	247 877	85 824	32 487	14 890	203 248	-	5 283	
根山島口	453 273	88 789	364 484	69 120	30 919	16 166	330 438	3	4 462	
根山島口	303 105	121 112	181 993	67 695	19 921	13 652	190 638	1	6 931	
徳香愛高	193 194	38 238	154 956	28 578	21 522	5 937	134 987	-	776	
島川媛知	111 375	31 175	80 200	36 198	13 467	7 219	52 256	-	268	
島川媛知	285 161	82 397	202 764	41 664	43 325	10 350	186 942	-	1 567	
島川媛知	333 651	106 597	227 054	33 327	22 424	4 877	268 155	-	3 618	
福佐長熊	270 741	97 314	173 427	98 103	30 374	29 410	83 524	18	21 678	
岡智崎本	142 890	53 735	89 156	51 570	20 073	6 362	45 092	3	18 884	
岡智崎本	175 073	57 871	117 202	31 708	51 127	9 191	66 132	1	15 451	
岡智崎本	284 378	64 857	219 521	77 917	72 414	14 642	94 312	1 195	22 933	
大宮鹿	211 444	76 489	134 956	55 145	33 189	9 618	78 633	-	32 794	
分崎島	221 736	84 711	137 025	46 635	49 226	9 858	93 788	50	20 983	
分崎島	373 844	100 756	273 088	60 268	123 479	17 280	133 092	2	38 618	



第 2 章 気 象

年 間 概 況

昭和44年の大阪の気象概況をみると、年初は本邦の南岸に前線が停滞し西日本に暖気が流入して温暖な日が続き、2月中旬には連日雨が降って菜種梅雨のようになった。3月中旬には時々本邦付近に寒冷な気流が南下し、太平洋側に大雪を降らし、大阪では4日に6cmの積雪を観測した。

本年の入梅は6月17日で昨年より4日遅く梅雨明けは2日遅く7月15日で、梅雨期間中は比較的低温で降水量が多かった。

本年は19個の台風が発生したが、ここ数年は直接大阪に来襲した台風はなく、また9月に1個も台風が来襲しなかったことは珍しいことで、降水量も9月～12月にかけては少なかった。

月 別 概 況

1月の前半は冬型気圧配置であったが、後半本邦の南岸に前線が停滞することが多く、この前線上を低気圧が通過して西日本に暖気をもたらしたため異常に高温となり27日に4月頃の気温となった。このため月平均気温も平年より1°C高い5.7°Cとなり、降水量も多く平年の114%に当たる61.5mmとなった。

2月の上旬はじめと下旬には大陸から南下した寒気におおわれて寒かったが、7日より13日までは南偏した高気圧におおわれたことと、14日から21日にかけては前線が本州南岸に停滞したことにより、平年にくらべ温暖であった。このため月平均気温は平年よりやや高目の5.8°Cであった。降水量も月を通して悪天の日が多く、特に14日から21日までの降雨により平年の157%に当たる90.5mmを記録した。

3月は大陸の高気圧の勢力が強く、時々本邦に寒冷な気流が南下したため、上中旬は低温傾向が続き、表日本も時ならぬ積雪に見舞われた。しかし下旬には移動性高気圧におおわれ急に気温が上昇した。このため月平均気温は平年よりやや低目の7.7°Cとなり、月総降水量は低気圧が太平洋を4、12、19、20日ととおりかなりの雨が降ったので平年の158%に当たる151.0mmを記録した。

4月の月はじめは冬型の天気となって低温が続いたが、中下旬は一時夏型のような気圧配置になったり、前線が本邦南岸に停滞するなど天気変化が激しかった。気温は上旬が低温、中下旬は高温に経過したため、月平均気温は平年よりやや高目の14.4°Cとなり、月降水量は16日に本邦の太平洋岸を低気圧が発達しながら東進したため府下全般に40～80mmの降雨があったが平年並の118.0mmであった。

5月の上旬は移動性高気圧におおわれ高温晴天に恵まれた。しかし中旬以後は本邦南岸に前線が停滞し曇雨天が多かった。このため平均気温は平年より約1°C高目の19.5°Cであった。また降水日数は多かったが一雨の降水量が少なかったため月降水量は平年の76%に当たる92.0

mmであった。

6月の前半は天気が周期的に変わり晴れの日が多かった。後半、17日からは梅雨に入り、下旬は大雨があった。月末には梅雨前線が活潑になり、大雨となり、梅雨の最盛期となった。気温は月はじめ移動性高気圧におおわれて高い日もあったが、後半は大陸からの寒気が西日本に流れこんだためやや低目に経過し月平均気温は21.8°Cとなった。3、6、12日にかなりまとまった雨が降り25日から月末にかけて大雨があったので月降水量は例年にくらべてかなり多い301.0mmを記録した。

7月は前半梅雨前線が停滞して時々大雨があったが、15日梅雨が明け夏型の気圧配置で暑い日が続いた。梅雨期間中は平年にくらべかなりの低温となったため、月平均気温は全般に1°C低目となり、大阪府の1部に2°C低いところがあった。また月降水量は梅雨期間中の降水量が多かったため、兵庫県北部と淡路島附近を除いて平年の130～150%多い目であった。

8月の月はじめ台風7号が接近し一時俄雨が降った。その後20日頃までは太平洋高気圧におおわれて夏型の天気が続き暑さがきびしかった。22～23日にかけて台風9号が日本列島を縦走し、あと月末まで本邦の南岸に前線が停滞し雲の多い天気が続いた。月平均気温は豊岡、京都市附近と大阪府、奈良県では平年並であったが、その他の地方では平年より若干低目であった。

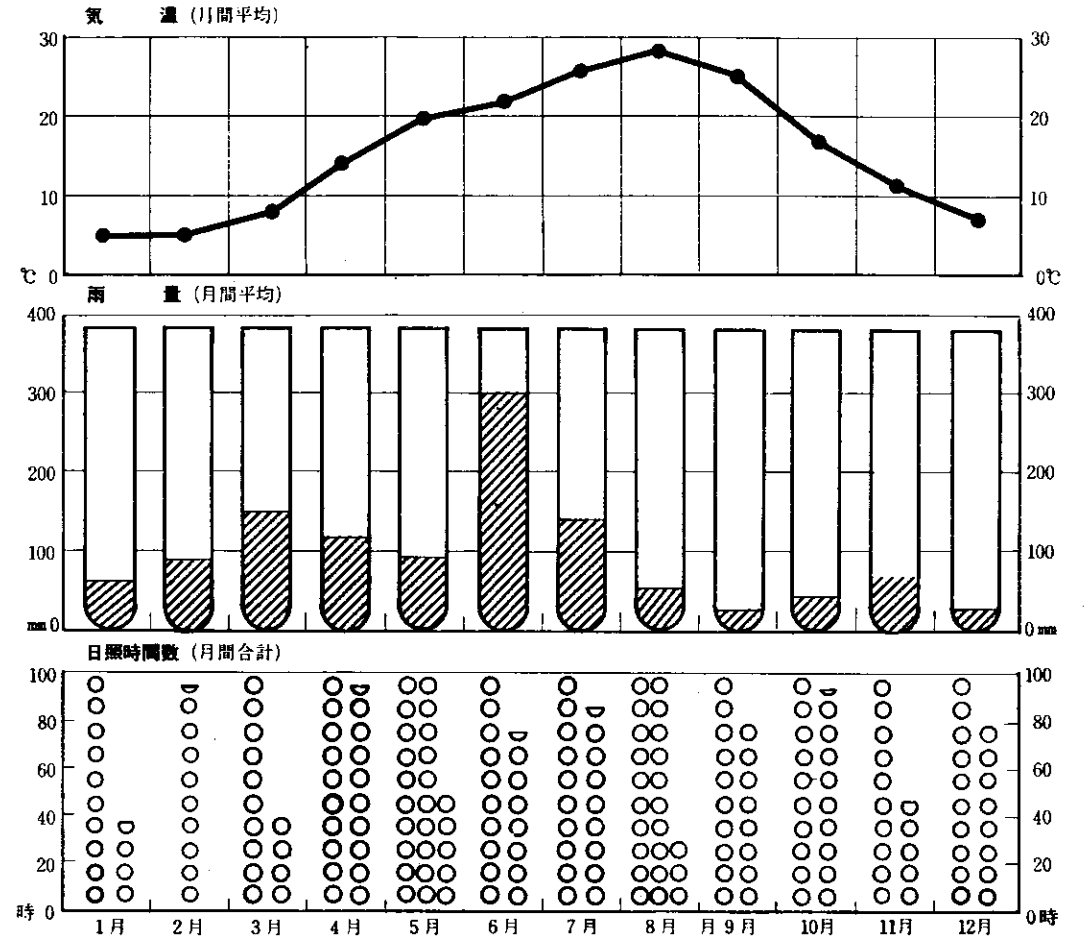
9月は台風の影響がなかったことと、秋雨前線も通過したが小雨を降らした程度であったことと理由から降水量が少なく、平年の17%で観測開始以来の少雨となった。月はじめ残暑が厳しかったが8日頃から北方気流が流入して気温が降下してさわやかとなったが中旬には再び夏型に戻り連日30°Cを越す残暑となった。この高温傾向が下旬まで続いたため月平均気温は全般に1°C高目のところが多かった。

10月の前半は高気圧が北日本をとおりたため低温傾向が続いた。後半は移動性高気圧におおわれて秋晴れが続く気温は高目となったため月平均気温は平年より2°C高い17.5°Cで、月総降水量は平均の37%に当たる45.5mmであった。

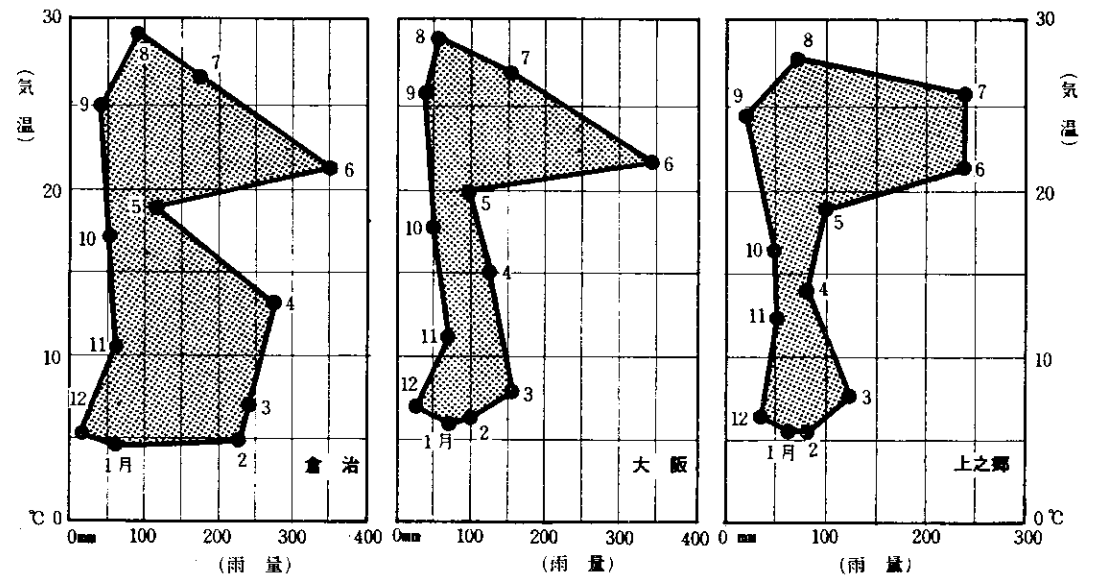
11月の西日本は移動性高気圧におおわれて晴天の日が多く暖かったが24日頃より冬型気圧配置が強まって今冬初の寒波が襲来したので月平均気温は平年より3.7°C低い11.8°Cで月総降水量は平年の89%に当たる71.5°Cであった。

12月は月を通じて冬型気圧配置が卓越したが、時々気圧傾度がゆるんで、低気圧が日本海を通過した。しかし、全般的に降水量が少なく平年の約半分にすぎなかった。このため月の後半は乾燥状態が続いた。月平均気温は平年より8.6°C低い6.9°Cで、月総降水量は平年の48%に当たる25.0mmであった。

気温・雨量と日照時間数(44年)



気温と雨量の相関関係



第 1 表

大阪管区気象台

本表は「近畿気象要覧」によるものである。

Table with columns: 位置, 経緯度 (東経, 北緯), 海面上高, 創立年月日, 主要材器の位置. Includes data for Osaka Regional Meteorological Station.

資料 大阪管区気象台。

第 2 表

気 象 概 況

本表は大阪管区気象台での観測概況である。平均気温は1日8回の平均値から、平均湿度は相対湿度ともよび1日4回の測定値からその日の平均値が計算される。雲量は全天雲に被われた場合を10とし、雲のない状態を0とした基準、平均風速は0時~24時の全風程から求められている。平年各種のうち*印は過去における最高最低および最大値である。

Table with columns: 年 月, 平均気圧, 気温 (平均, 最高値, 最低値), 平均湿度, 雲量, 風速 (平均, 瞬間最大), 風向, 降水量 (総量, 最大時量), 日照時間. Includes monthly and annual data from 1940 to 1944.

資料 「近畿気象要覧」

第 3 表

天 気 の 概 況

本表は大阪管区気象台での観測結果による日数である。なお区分中の降水量≥0.1mmが43年より降水量≥0.5mmに変更された。

Table with columns: 区分, 昭和41年, 昭和42年, 昭和43年, 昭和44年 (総数, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月). Includes precipitation and other weather data.

資料 「近畿気象要覧」

第 4 表

気象官署区内観測所の平均気温

本表は標記各観測所において観測したものである。()内は観測値が欠けているものを除いた平均値である。

Table with columns: 地名, 昭和41年平均, 昭和42年平均, 昭和43年平均, 昭和44年 (1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月). Includes average temperature data for various stations.

資料 「大阪府気象月報」

第 5 表

気象官署区内観測所の降水量

本表は標記各観測所において観測したものである。()は欠測による誤差が隣接観測所の観測から推定して10%以下と考えられる数値である。

Table with columns: 地名, 昭和41年総数, 昭和42年総数, 昭和43年総数, 昭和44年 (総数, 1月, 2月, 3月, 4月, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月, 10月, 11月, 12月). Includes precipitation data for various stations.

資料 「大阪府気象月報」

第 6 表

大阪市内の地盤沈下量

本表は大阪市の委託により大阪管区气象台が観測したものである。

Table with columns for year/month, station names (鶴町, 九条, 西島, 島屋町, 天保山, 田中町, 姫島, 中之島, 十三, 蒲生), and ground subsidence values in mm. Rows include years 1940-1943 and 1944, and months 1-12.

資料 大阪市総合計画局公害対策部企画課

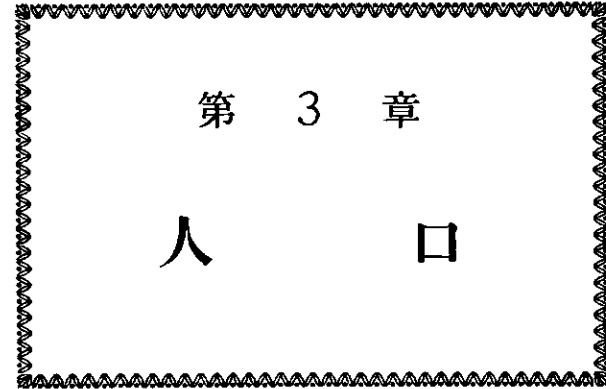
第 7 表

全国気象概況

本表の「平均相対湿度」は毎日3時、9時、15時、21時の4回の観測値を、「平均気温」はこの4回に更に6時、12時、18時、24時を加えた合計8回の観測値を算術平均したものである。「快晴日」は日平均雲量2.5未満をいい平均値は昭和6-35年の平均値である。 a)は昭和16-35年の平均、b)は25-35年の平均である。

Table showing national weather trends with columns for observation station, average temperature, average relative humidity, precipitation, and fast clear days. Rows list various stations across Japan like 北海道, 東北, 関東, etc.

資料 「日本統計年鑑」



第 3 章

人 口